

ゆめ

さくら

夢咲楽

～和輪話通信～

目次

■未来にはばたけ!! ～さくら市の若者たち～……1

■マスミ先生のワンポイントアドバイス「ICTってなに?」……3

■子どもを育てる!
ふれあいメッセージ ……………2

■青少年センターの活動……………4



未来にはばたけ!!
～さくら市の若者たち～

**努力無くして
結果は得られず**

今回は、昨年夏に見事県大会を制覇し、横浜国際プールにおいて開催された「第37回関東中学校水泳競技大会」に、男子個人自由形200メートル及び400メートル、団体リレーに出場するという快挙を成し遂げた、氏家中学校水泳部の滝口武蔵さんを取材しました。

水泳を始めたきっかけを聞いたところ、「自分が保育園児の頃、姉の通うスイミングスクールに自分も通いたいたい出し、いっしょに通い出したのが始まりです。上達することに競泳に興味があり、中学校入学と同時に水泳部に入学しました。スイミングスクールでは現在、選手コースを選択して、コーチからの指導を受けています。」と話してくれました。

練習は、月曜日以外の平日の夜、土日休日の午前と午後。たとえ調子が悪くても休むことなく、水泳一筋に並々ならぬ努力をかたむけてきたそうです。将来の希望はという問いかけに「できれば大学まで水泳を続けることが夢です。その後はスポーツインストラクターのような水泳にかかわる仕事に就きたいです。」と答えてくれました。

最後に一言。「いま、僕が水泳を続けることができるのは、いままで励ましあい支えあってきた仲間たちや、ご指導を頂いた水泳部の先生、スイミングスクールのコーチ、そして何より忙しい中送り迎えしてくれた家族のおかげです。」と話してくれました。
これからも、滝口さんの活躍に大いに期待したいです。

わわわ隊 飯島 満

熟田地区プロジェクトSSの取り組み

「プロジェクトSSとは何でしょう？」その意味を、代表の石原孝明さんにお聞きしました。

「プロジェクトSSの「SS」は、「Small Seed」(スモール シード)を略したもので、「小さな種」という意味です。地域の中に小さな種(子ども、人と人のつながり)を蒔き、地域の子どもから大人まで、互いに助け合い育みあって、小さな花を咲かせていければと名付けられました。発足は2002年、当時の氏家町教育委員会を中心にスタートし、以後熟田地区では12年間続いています。

現在、地域の遊び場づくりなどの活動を実施していますが、大きな行事として実施しているのが、夏に熟田小学校校庭で開催される「星空映画会」です。」と話してくださいました。

私も昨年、活動に参加させていただきましたが、行政区長、PTA会長、消防団など皆さんが一体となって、スクリーンや照明を準備し、また、映画館らしくポップコーンも用意していました。子どもたちも、上級生が中心になり、テキパキと会場準備をしていました。

これからは、人と人、地域のつながりがますます大切になってきます。今後も、様々な体験活動を通して、生きる力、豊かな人間性を育んでいる熟田地区プロジェクトSSの取り組みが長く続くことを期待しています。

わわわ隊 福田 克之



ふれあいメッセージ

前向きに続けることで、人生も変わってくる!?

さくら市立熟田小学校
校長 五味淵 俊夫



1月のある日曜日の出来事。

会員になっている東北にあるゴルフクラブの月例での一コマ。スタート前から突き刺すような北風に、「風花」が舞う中での第1打。1mのパーバットが入らずで、ボギースタートとなりました。

「嫌な予感」が的中!ホールが進むにつれ気温が下がり北風は強まり、降る雪の量も増してきました。前半の5ホールまで来ると、目には雪片が突き刺さり、打ったボールも見えないほどの「吹雪?」に…。スキー場にいるような錯覚さえおぼえました。

さて、ここで問題です。「あなたなら、これからどうしますか?」選択肢は4つあります。

- 1つめは、続行不可能と判断し、前半のプレーで、自分からリタイア(中止)する。
- 2つめは、前半でリタイアして、プレー代の減額を支配人に申し入れる。
- 3つめは、天候に不平や文句を言いながら、いやいやながらも後半、プレーを続ける。
- 4つめは、これも試練!条件は固、同じ!ぐらに、プラス思考で前向きにプレーを続ける。さて、あなたは…。

この日、私の選んだ回答は「4」でした。これからの人生の中で、この例示のような岐路に出会うことが多々あると思います。あなたがどの選択肢を選ぶのかで、将来の自分の人生も変わっていくのではないのでしょうか(自省の念も込めて、この文章を書かせていただきました)?



マスミ先生のワンポイントアドバイス



ICTってなに?



さくら

「ICT研究班」の「ICT」ってどんな意味ですか?

「ICT」は英語のインフォメーション アンド コミュニケーション・テクノロジー。それぞれの頭文字3文字を表します。もっとわかりやすく言うと、ICTは情報・通信・交流といった意味のことを私たちの生活にどう活用するかという技術を指すものといえます。「IT」とも言われますが同じ意味と思っていいですよ。



マスミ先生



さくら

実際、私たちの生活にどう関係あるのですか?

良い質問ですね。「ICT」を活用したものとしてパソコン、ゲーム機、携帯電話などがあります。特にパソコンはインターネットでわからないことを調べたり、お買い物やたくさんの人との交流など学習や生活が便利になりました。これを実現可能にしたのはコンピュータ技術の進歩と利用にあります。電化製品、お父さんお母さんの自動車やお父さんの職場などあらゆる場所でコンピュータ技術が活躍しています。



マスミ先生



さくら

なるほど! 便利な世の中ですね。

そうですね。ここ20年で「ICT」がすごい勢いで進んで生活を大変便利にしました。これからはもっと発展していくでしょう。マスミ先生が子どもの頃は、パソコンは家にも学校にもありませんでした。でも、便利になった反面、気をつけなきゃならないことも出てきました。



マスミ先生



さくら

気をつけることって何ですか?教えてください。

ごめんね、さくらちゃん。また次回に話そう。読者の皆様でご質問があるかたはお気軽にご連絡ください。

次ページへ



マスミ先生

→ マスミ先生へのご質問は、生涯学習課 028-686-6621 まで

さくら市青少年センター ICT研究班「サイバー防犯ボランティア」開始!



近年、サイバー犯罪による被害が増加しています。現実社会には自主防犯バトロール活動等があるように、ネット上においても自主防犯ボランティアを推進して「自分たちの利用するインターネットの安全は自分たちで守る」という意識を高め、サイバー空間の健全化を図るとともに犯罪被害防止の啓発活動が急務だと考えています。

ICT研究班は栃木県警本部サイバー犯罪対策室と連携してサイバー空間における安全・安心の構築のため、産学官一体となったサイバー犯罪対策を推進しています。

青少年センターの活動

体験活動
「チャレンジピザ作り」



「う〜ん。トッピングをどうしようかなあ〜。」

さくら市の子どもを考える会
「和輪話の会」講演会



見よ!この真剣な姿!!
背中が物語ります。

養徳園・喜連川児童
センターにて視察研修



「ありがとうございました。
とても勉強になりました。」



体験活動
「チャレンジ
ランキング」 「集中 集中」



夕方のあいさつ
活動

朝のあいさつ活動



「気をつけて帰ってね。」

朝のあいさつ
活動

「あ!わわわ隊だ。
おはようございます。」



朝のあいさつ
活動

「みなさん、勉強がんばって。」



朝のあいさつ
活動

「おはようございます!!!」「おはようございます!!!」
「おはようございます!!!」「おはようございます!!!」

「今日も元気でがんばってね。」「はい!!」

あとがき

3月です。春はもうすぐそこまでやっています。

ぴかぴかのかわいい1年生だったみんなも、すっかりお姉さんお兄さんの顔つきになりました。

わたしたち“わわわ隊”は、子どもたちの成長を見守っているようで、子どもたちと一緒に成長することができる得な役割だなあとしみじみと感じます。

春は出会いの季節でもあります、成長した自分とも出会える季節。

「次はどんなあたらしい自分と出会えるのかな?」楽しみに待つ今日この頃です。



わわわ隊 大河原 千晶

広報啓発班

大河原 千晶 / 飯島 満 / 岡 一雄 / 加藤 朋子 / 田代 眞澄 / 手塚 良作 / 福田 克之

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽~和輪話通信~ 第22号
発行日 平成26年3月1日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくら~わわわつしん~は平成26年7月に発行予定です